

Rotary



# 宮崎南週報



## ロータリークラブの活動を楽しもう！

宮崎南ロータリークラブ  
会長 川村雅宣

### 第2060回例会 2020.12.14

会長／川村雅宣 幹事／島田博良  
副会長／戸高勝利 会報／開地俊昭  
例会場／宮崎観光ホテル  
ソング／奉仕の理想

#### 会長挨拶



私についての昔話をしたいと思います。

私が幼稚園生の時は愛知県の刈谷市に住んでいました。伊勢湾台風で被害にあった家屋内建具工事の仕事を父親がしていた関係からです。黒い250ccのバイクに親子5人（父・母・姉・私・弟）が乗って仕事場に行った記憶があります。今なら大変な事ですが、昔は車も少なくのんびりしていました。

小学校になると宮崎に帰ってきました。父は気性の激しい人で従業員が作った物が気に入らないと怒鳴り散らしたものですから、職人が長続きせず結局父ひとりで仕事をしていました。その為、無理がたり肺結核にかかり昔の江南病院に入院してしまいました。

この頃が一番つらい時期でした。退院して従業員を雇いあまり叱る事をせず工場の2階に住みこませ母が食事・洗濯等のめんどうをみていました。その頃から少しづつ会社も軌道に乗るようになりました。

現在は私が2代目として会社を引き継いでいます。

#### 川村雅宣会長

### 出席委員会報告

井上竜志委員長

#### ●出席状況

本日状況		前々回状況	
会員数	(48) 50名	会員数	(46) 49名
本日欠席者数	18名	ホームクラブ出席者数	31名
本日出席者数	32名	メークアップ数	1名
出席率	66.67%	修正出席者数	32名
		修正出席率	69.57%

●前々回メークアップされた方／田中 寛会員

ニコニコ  
BOX 1件  
累計 27,000円

募金箱 6,440円  
累計 82,676円

### 幹事報告

島田博良幹事



2週ほど体調不良で欠席いたしましたが、コロナではありませんのでご了承願います。

国際ロータリー第2730地区2022-2023年度ガバナーが決定いたしましたので報告します。

鹿児島ロータリークラブの「山之内文治」会員に決まりました。

当南ロータリークラブの2022-2023年度会長予定者は来週発表させていただきます。

### 入会式

山口孝司様  
デンコーテック㈱

推薦者  
川村雅宣会員



### Rotary ロータリー情報

#### ●ロータリーデー (Rotary Day)

1905年2月23日、ポール・ハリスと3人の仲間がシカゴのユニティ・ビル711号室に集まり、ロータリーが誕生した。このロータリー創立記念日をロータリーデーと言い、それを祝うイベントの計画がされる。例えば、世界各地の名所で「End Polio Now」のメッセージを映し出すイルミネーションが行われ、ポリオ根絶活動への支援を呼びかけた。2014-15年度ゲイリーC. K. ホアン会長はこのロータリーデーを推進し、地域社会の人々に、楽しみながら情報を学んでもらうイベントを催し、ロータリーを紹介するということを奨励し表彰する。

## 親睦委員会

安川 潔委員長



- ・第3回宮崎南ロータリークラブ親睦ゴルフコンペ開催の案内  
令和3年1月17日(日) UMKカントリークラブ 7:53スタート
- ・12月21日年末家族懇親会 1月18日年始め懇親会  
夜間例会は中止とし、通常例会になります。  
オークションの景品はお預かりしておきます。

## 本日のプログラム 会員卓話

### 治療について

河野慎也会員



今日は、「治験」つまり、「臨床試験」について話させていただこうと思います。

世間はコロナ禍の真っただ中、特に今は第3波が押し寄せてきていて、忘年会・新年会のシーズンというのに「ニシタチ」は大きな打撃で、「ニシタチ」ばかりかいろんな業界でその影響は計り知れないものがあると思います。

そのような中、先週の12/8(火)にイギリスでは新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりました。アメリカでは今日12/14(月)から接種が始まるとのことでした。

90歳の女性が「ワクチン接種を受けた最初の人だとメディアが騒いでおりました。

このワクチンは、1週間で80万回分が供給される見通しのことだったですが、12/10朝のニュースでは二人にアレルギー反応が出たと報じていました。

専門家は、重大な副作用が起きないかを、慎重に確認する必要があると指摘しています。接種が始まったワクチンはアメリカの製薬大手「ファイザー」などが開発したもので、臨床試験で報告された副作用について公表しています。それによりますと、43,000人余りが参加した最終段階の臨床試験で2回の接種を受けたあとに報告された副作用は、疲労を訴えた人が3.8%（単純に掛け算すると1,634人）頭痛を訴えた人が2.0%（860人）で多くはすぐに症状が治まったそうです。

ただ、90年代後半にアメリカで開発された「ロタウイルス」のワクチンは臨床試験では問題がなかったそうですが、市販後に「腸重責」という副作用が出る疑いがあることがわかり、発売が中止されたそ

うです。

余談ですが、この「ロタウイルス」は、今まで任意接種だったものが今年の10月からは国が接種を勧奨し公費によって接種できるようになりました。

数万人規模の臨床試験では深刻な副作用が確認されなくても、10万人、100万人と接種の範囲を広げると新たに報告されるケースは起こりえるそうです。

今はまだ、長期的な安全性が証明されたとは言えない段階なので、日本で導入する際には、国内での臨床試験の結果やイギリスなど先行する国の状況を参考にしながら、慎重に判断されることだろうと思います。

何故、このような話を始めたかと申しますと…。

実は、私もワクチンではないのですが、「治験」というものに参加した経験があります。

私は心臓の血管に疾患がありまして、いわゆる「狭心症」というものです。最初は、2006年（平成18年）12月に突然きました。その時は、「冠攣縮性狭心症」と診断され、安静時に血管がギューッと収縮して血の流れが悪くなるために、痛くなつた。と説明され、特に薬を処方されるわけでもなく、それまでと変わらない生活をしていました。

ところが、その7年後、朝出勤してパソコンを立ち上げると同時に、胸が痛みだし、この痛みは心臓を力いっぱい、わしづかみされたような、今まで味わったことのない痛みでした。そのまま、同僚に市郡医師会病院に連れて行ってもらい、受付で痛みを訴えたのですが、予約か急患でないと受け付けられないとか、言われて帰されそうになりました。

前に来たことがあるから履歴を調べてくれと話したら、履歴が残っておりました。

それからは受付の態度が急変、ナースが車椅子をもってきて、歩けるというのに座らされて、「いま、痛いうちに心電図が見たい」とか言われ、痛がっているのに、吸盤をペタペタとくっつけられて、そのまま手術室へ直行でした。

結果、カテーテル施術をしました。

「カテーテル」というのは、「手首などから細い管を入れて、その中に針金のようなものを通して検査のための造影剤とか、治療のためのステントとかを、血管の細くなった部分まで届ける施術」で、結果的にステントを入れました。手首の血管に管を入れるのですから、局所麻酔をするのですが、後が痛い。空気圧で抑

えて少しづつ圧を抜いていくのですが、次の日の朝まで痛くて疲れませんでした。「ステント」というのは、体の管状の部分を内部から広げる医療機器のことです、金属でできた網目の筒状のものです。

その次は、1ヵ月後でした。前回のカテーテルの時に、他にも血管が細くなっている場所があると担当医から話されて、早めに処置したほうがいいとのことで、2回目を受けることになりました。その時に、実はまだ承認されていないステントがあって、治験に協力してもらえるか?と聞かれ、どのようなものかの説明を受けました。

最初にいれたステントは、金属製のものだが、紹介する治験のステントは「生体吸収性」というもので、体の中で自然に分解する素材で構成されたステントだと説明されました。血管治療を進めながら3年程度でゆっくりと体内で分解し消失することでした。

従来の金属製のステントは、永久的に体内に残り血管が固定されるので、血管の本来の運動機能の妨げになっているようで、また、「再狭窄」といわれる大きな問題がありました。「再狭窄」とは、治療後半年程度でステントの内側が「新生内膜」という組織によって覆われて、再度狭くなってしまう現象です。

ただ、「薬剤溶出ステント」というステントの表面に免疫抑制剤が塗られたものが出てきて、再狭窄が少なくなっており、それが主流だったようですが、さらに新しい「生体吸収型」のステントの時代になったようです。この治験は、国内38の医療機関で400名強の実績をあげることでした。私は350人めくらいのことでした。

宮崎市郡医師会病院では私を含めて11名が参加したそうです。ちなみに宮崎市郡医師会病院では、毎年800件のカテーテル手術をおこなっているそうです。この治験は、5年かかるといわれていましたが3年程度で承認され、いまではもう日本国内でも使用できるようになりました。現在では、100か国以上で販売されていて15万人以上の治療に用いられているそうです。

結果的には、承認されて、他にはない先進治療を先に受けられた訳で、得した気分ですが、同じ病気で悩んでいる患者さんの役に立つという社会貢献ができたという思いはあります。しかし、ステントの状態をみるために、1ヵ月、半年、1年後に心電図検査などの確認が必要で、さらに13ヵ月目に血管造影検査(つ

まりカテーテル施術)を受けなければならない、しかも5年間は続くというリスクもありましたが、定期的な検査が受けられると思い協力しました。

最終的には、最初のカテーテル施術から今年の5月までの7年間で、治験を含め10回の施術を受け、ステントが4つ入っております。ステントがない時代だったら、もう今はこの世にはいないかもしれない、または、自由に動きまわれる状態ではなかったかもしれないですが、最初の金属のステントも、おそらくたくさんの患者さんが治験に参加されて、開発されたものだと思います。その治験に参加された方々に感謝しています。

いま、まさに世界を席巻している新型コロナウイルス感染症も、早くワクチンが開発されて、全世界に供給され、一日でも早く収束することを願うばかりです。

## 日高安隆会員



勤務先（役職）：

株式会社 宮崎設計（代表取締役）

生年月日：昭和40年7月12日 現在55歳

本籍（自宅）：宮崎市江平西2丁目

学歴：宮崎江平小学校→宮崎東中学校→

宮崎日大高→日本大学

南RC、同じ進路の方々「宮崎日大高→日本大学」

大迫雅浩、高瀬俊彦、田中靖彦、日高安隆

南RC内において宮崎日大高PTA会長を経験された方々「宮崎日大高PTA会長」

田中寛、高瀬俊彦、田口幸登、田中靖彦、

谷口真樹、日高安隆

職歴：

(株)宮崎産業開発→(株)宮崎設計 S 63.4 - H 7.4

(株)宮崎産業開発…建設コンサルタント

公共の道路・橋梁（測量～設計）、民間のゴルフ場開発（測量～設計）を経験 H 7.5 ~ 現在

(株)宮崎設計（旧社名：(株)宮崎建築設計事務所）…建築設計・工事監理

土木&建築の設計コンサルを目指し、H 5年に社名変更、私の入社と共に土木コンサルの登録を取り、行政の入札まで参加出来るようになりました 5~6年、業務をやりましたが、採算とれず断念、現在は、建築設計・工事監理業務を専門で営んでおります。

家族構成…妻（博子）52歳、娘（裕葵）21歳、

父（安徳）91歳、母（京子）84歳と二世帯住宅にて5

人家族で生活

趣味/特技

- 旅行（食べ歩き・建物巡り）

- スポーツ観戦

ゴルフは嫌々ながら参加タイプ

- ソファーで一日中ジッと出来る事

（ステイホーム大好き）

- 最近、小型特殊船舶の免許を取り、コロナ過に關係

なく1人で各地の素晴らしい海を体感できる様に、

準備を進めているところです。

- ここ1年ぐらいい日課となっているジョギング・ウォーキング

ご縁で入会させて頂きましたロータリーの皆様と末

永く友愛を育んで参れますよう、積極的に事業に参加

させて頂きますのでどうか宜しくお願い致します。